



令和 7 年 9 月 12 日
内閣府政策統括官（防災担当）

令和 7 年防災功労者防災担当大臣表彰式について

標記式典を下記のとおり執り行うのでお知らせします。

なお、受賞者については別紙 1 のとおりです。

記

1. 日 時：令和 7 年 9 月 19 日（金）13 時 30 分～
2. 場 所：ホテルルポール麹町（東京都千代田区平河町 2－4－3）
3 F 「マーブル」
3. 出席者：防災担当大臣（予定）
4. 式次第：（開式）13 時 30 分～（閉式）14 時 00 分
 - （1）防災担当大臣あいさつ
 - （2）防災担当大臣表彰状授与
 - （3）受賞者代表謝辞
5. 取 材：表彰式は公開（カメラ撮り可）。ただし次の事項に留意。
 - （1）取材を希望される場合は、9 月 17 日（水）17 時 00 分までに以下のアドレスにて取材者の事前登録をお願いします。
<https://forms.office.com/r/FFcqpzXRyp>
 - （2）取材を希望される方は、表彰式当日、12 時 45 分～13 時 15 分までの間にホテルルポール麹町 3 F 「マーブル」前にて取材の受付を済ませてください。
 - （3）取材をされる際には、表彰式の支障とならないよう現地担当者の指示に従ってください。
6. その他：表彰式の日程が変更又は中止となる場合がございますので、御留意願います。

【本件問合せ先】

内閣府政策統括官（防災担当） 付
参事官（総括担当） 付 唐戸、木村、中村
電話：03-3593-2844（直通）

令和7年 防災功労者防災担当大臣表彰受賞者名簿

○ 個人

〔防災体制の整備〕

ト 部 厚 志	(新潟県)
稲 田 眞 治	(愛知県)
渥 美 公 秀	(兵庫県)
植 村 信 吉	(奈良県)
竹 田 廣 行	(徳島県)

〔防災思想の普及〕

崎 山 光 一	(和歌山県)
---------	--------

○ 団 体

〔防災体制の整備〕

切畑自主防災会	(秋田県)
南蓮田自治会自主防災部	(埼玉県)
中の島自主防災会	(千葉県)
西山コミュニティ協議会	(新潟県)
桃山学区防災安心まちづくり委員会	(愛知県)
西福田学区連絡協議会	(愛知県)
星崎学区連絡協議会	(愛知県)
養徳学区自主防災会	(京都府)
加太地区防災会	(和歌山県)
西牟田区自主防災会	(佐賀県)

〔防災思想の普及〕

八戸地域少年消防クラブ育成協議会	(青森県)
公益社団法人 SL災害ボランティアネットワーク・市原	(千葉県)
小岩内集落・新潟デザイン専門学校・村上市	(新潟県)
野方自主防災会	(愛知県)
福米中学校区防災体験キャンプ実行委員会	(鳥取県)
応神地区自主防災会連合会	(徳島県)
不動地区自主防災連合会	(徳島県)

〔災害時の防災活動〕

搜索救助犬 HDS K9	(愛知県)
町野復興炊き出し隊	(石川県)
輪島セントラルキッチン	(石川県)
門前みんなのごはん	(石川県)

功 績 概 要

個人〔防災体制の整備〕

推 薦 者	新 潟 県
ふ り が な 氏 名	うらべ あつし ト部 厚志
住 所	新潟県新潟市
職 業	新潟大学災害・復興科学研究所 教授
功 績 の 概 要	氏の災害研究は、単なる災害学理の探求にとどまらず、研究成果の社会還元までを一連の研究活動ととらえている点が大きな特徴である。そのため、学界のみならず行政や産業界からの信頼が厚く、新潟県津波対策検討委員会、新潟県地震被害想定調査検討委員会、令和6年能登半島地震を踏まえた防災対策検討会（新潟県）、新潟市宅地等耐震化対応・対策検討会議などの行政等の防災施策立案・審議に関する委員を多数歴任している（過去3年間合計延べ35件）。 これに加え、新潟市では、新潟市宅地等耐震化対応・対策検討会議及び国土強靱化地域計画策定に係る有識者会の委員を務め、専門的見地から市の防災施策に貢献。能登半島地震を踏まえた液状化対策や耐震化に関する自然災害への助言だけでなく、国土強靱化の観点から地域の将来像を見据えた計画策定にも貢献する等、科学的知見に基づく実効性ある防災・減災施策の推進に寄与した。 氏が実施した新潟市域の液状化調査によって、地区ごとの液状化発生と地盤基礎構造の関係が明らかになったため、自治体は国の液状化防止事業の導入の検討が可能となり、早期に復旧・復興のロードマップを示すことができた。これは生活再建を目指す被災者に大きな安心と希望を与えるものであった。 また、防災力向上に資する科学-社会間連携の推進は、防災と地域づくりの様々な経験やノウハウを社会に提供するものであり、自治体が災害時に住民を守るための仕組みづくりや、住民主体の地域防災活動の推進などに大きく貢献している。

功 績 概 要

個人〔防災体制の整備〕

推 薦 者	愛 知 県
ふ り が な 氏 名	いなだ しんじ 稲田 眞治
住 所	愛知県名古屋市中
職 業	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 第一救急科部長兼救命救急センター長
功 績 の 概 要	氏は、大規模災害時に県内における医療の調整を行う本部災害医療コーディネーターに制度当初から就任し、愛知県の災害医療体制の整備にあたり、県内の救命救急センター及び災害拠点病院の方向性について、積極的に意見・助言を行い、様々なルールの確立に関わってきた。 また、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の救命救急センター長として県内の高度医療・救急医療など急性期医療の中心を担っている。平成23年3月に発生した東日本大震災に派遣されて以降、平成26年御嶽山噴火災害、平成28年熊本地震災害現場、平成30年7月豪雨（西日本豪雨）、令和元年東日本台風（台風第 19 号）、令和6年能登半島地震、令和6年9月能登半島豪雨等、現場・本部を問わず、数々の災害救護活動等に従事し、被災地の復興支援活動大きく尽力している。 コロナ禍においては、ダイヤモンドプリンセス号でメディカルセンターの支援活動を担ったほか、愛知県新型コロナウイルス感染症調整本部における患者搬送コーディネート業務や医療体制準備のためのアドバイス、クラスター施設の支援を実施した。 さらに、DMATインストラクターとして、DMAT隊員を養成するとともに、DMATブロック訓練、政府訓練に参加した。 日本赤十字社救護員育成検討委員会の委員長として、研修プログラムの企画や立案を行うほか、研修スタッフとして救護員の育成に尽力している。

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	兵 庫 県
ふ り が な 氏 氏 名	あつみ ともひで 渥美 公秀
住 所	大阪府交野市
職 業	大阪大学大学院人間科学研究科 教授
功 績 の 概 要	氏は、阪神・淡路大震災に被災し、避難所などでのボランティア活動に従事したことをきっかけに、長きにわたり、災害ボランティア活動や災害研究などに取り組んでいる。 また、災害ボランティア活動における学識者として、各種委員会等で提言を行い、安全で安心な社会づくりに貢献するほか、認定特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク理事長として、災害ボランティア活動の支援・推進、普及啓発などを全国的に展開している。 そのほか、日本グループ・ダイナミックス学会、日本災害復興学会、日本自然災害学会などの役員を務めた実績があり、現在も多くの社会活動を行っている。

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	奈 良 県
ふ り が な 氏 氏 名	う え む ら し ん き ち 植 村 信 吉
住 所	奈良県磯城郡三宅町
職 業	NPO法人奈良県防災士会 相談役 奈良県自主防災アドバイザー
功 績 の 概 要	氏は、NPO法人奈良県防災士会相談役として、また奈良県防災統括室の委嘱を受けた奈良県自主防災アドバイザーとして、防災意識の普及啓発に努められるとともに、災害復旧支援にも積極的に参加されている。 多年にわたって三宅町の防災力の向上に尽力してこられたことは、防災功労者の功績として表彰に値するものである。

功 績 概 要

個人〔防災体制の整備〕

推 薦 者	徳 島 県
ふ り が な 氏 氏 名	たけだ ひろゆき 竹田 廣行
住 所	徳島県徳島市
職 業	一宮・下町地区自主防災会連合会 会長
功 績 の 概 要	氏は、平成25年に13地区の自主防災会を取りまとめ、一宮・下町地区自主防災会連合会を結成、会長に就任以来、年2回以上、防災訓練や防災研修等を実施している。特に、例年1月に実施している防災訓練では、消防分団、小・中学生、地域住民等が150人以上参加し、地域防災力の向上や防災意識の高揚を図るための活動に努めている。 「住民一人一人に災害に対する意識づけをしないと、自助、共助もできない」と考え、自ら県外研修（防災体験など）に参加し、そこで得た知識・経験を地区住民に対し、地域の防災訓練等で積極的に伝えるなど、災害対応の啓発に取り組んでいる。 県外の防災体験施設等の見学を毎年40名規模で多くの住民に参加してもらい、防災を身近に感じることができるよう工夫し、有事の際には、住民一人一人が素早く行動できるように繰り返し訓練を行う等、積極的な活動を行っている。 また、当該地区は幾度となく台風等の風水害や土砂崩れ等の被害を受けており、地域の危険な盛土に対し、適切な防災対策がなされるよう、強いリーダーシップで住民意見のとりまとめや行政との相談・協議を重ねることにより、土砂等の崩落による災害の未然防止に貢献した。当該盛土に関しては、防災対策工事が完了した後も8年余り、自主的な見回りを継続し、地域の安全・安心の確保に貢献している。

功 績 概 要

個人〔防災思想の普及〕

推 薦 者	和 歌 山 県
ふ り が な 氏 氏 名	さきやま こういち 崎山 光一
住 所	和歌山県有田郡広川町
職 業	
功 績 の 概 要	氏は、被災地との交流や各地各所での講演活動などを精力的に行い、被災地間のネットワーク構築に努めるなど、地元での活動に加えて、その幅広い活動で津波防災の啓発・教育に尽力した。 平成15年度に広川町語り部養成講座講師を務め、翌年の広川町語り部サークル立ち上げから、中心メンバーとして関わり、また、平成26年4月から令和7年3月まで「稲むらの火の館」館長として濱口梧陵の偉業を後世へ伝える活動を行った。稲むらの火の館の館長就任後は、インドネシアスマトラ沖地震の被災地アチェ津波博物館との提携や、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、中越地震の被災地との交流や各地各所での講演活動などを精力的に行い、被災地間のネットワーク構築に努めるなど、地元での活動に加えて、その幅広い活動で津波防災の啓発・教育に尽力された点が特に優れている。

功 績 概 要

団体〔防災体制の整備〕

推 薦 者	秋 田 県
ふ り が な 名 称	きりはたじしゅぼうさいかい 切畑自主防災会
所 在 地	秋田県湯沢市
代 表 者 (団体での職名)	会長 きとう はじめ 佐藤 肇
功 績 の 概 要	切畑自主防災会は、令和４年に約１年をかけ、地区防災計画策定協議会で議論を重ね、令和５年１月に秋田県内２例目となる地区防災計画、「切畑地区防災計画」を策定した。 また、これまで、毎年自主防災会の役員・スタッフに加え、防災士、市職員とともに危険箇所及び一時避難場所の確認をしたり、地域住民が多数参加しての避難訓練を行っている。避難訓練の際は、先進的な方法として避難している状況をドローンで上空から撮影し、避難経路や状況把握に役立てている。また、地域内全戸に黄色い「無事です」タオルを配布し玄関先の見えるところに掲示することで住民の安否確認を効率的に行うなどの工夫をしている。

功 績 概 要

団体〔防災体制の整備〕

推 薦 者	埼 玉 県
ふ り が な 名 称	みなみはすだじちかいじしゅぼうさいぶ 南蓮田自治会自主防災部
所 在 地	埼玉県蓮田市
代 表 者 (団体での職名)	部長 あおき まこと 青木 誠
功 績 の 概 要	南蓮田自治会自主防災部は、防災訓練やDIG訓練、防災講話、安否確認訓練等の防災活動を継続的に実施している。 毎年、防災訓練は消防署職員の指導の下に実施し、DIG訓練では埼玉県リーダー養成指導員を講師に招いて実施している。 また、防災回報を隔月作成し、訓練の実施報告及び次回の防災訓練の周知、防災への備え等を住民に周知している。

功 績 概 要

団体〔防災体制の整備〕

推 薦 者	千 葉 県
ふ り が な 名 称	なかのしまじしゅぼうさいかい 中の島自主防災会
所 在 地	千葉県茂原市
代 表 者 (団体での職名)	会長 すずき たいぞう 鈴木 泰三
功 績 の 概 要	中の島自主防災会は、平成4年3月1日に設立以来、「水害による人災は出さない」を基本思考とし、「中の島地区に居住する住民の防災意識向上と万一の災害に対する被害を、くい止めること」を目的とし、平素から会員の知識技能の向上や防災資機材などの点検等を通じて防災体制を整備するとともに地区における防災思想の普及にあたった。台風の接近などに伴う水害発生に際しては、地区内での対策にあたって被害の拡大を防いだ。

功 績 概 要

団体〔防災体制の整備〕

推 薦 者	新 潟 県
ふ り が な 名 称	にしやまこみゆにていきょうぎかい 西山コミュニティ協議会
所 在 地	新潟県柏崎市
代 表 者 (団体での職名)	会長 たむら けんじ 田村 謙治
功 績 の 概 要	西山コミュニティ協議会は、令和4年度の4つの地域コミュニティ組織の統合に伴い、自主防災会の再編を行うとともに、平常時及び災害時の役割分担や初動対応を明確化するために「西山コミュニティ地区防災計画」を策定した。自主防災会の再編後、地区防災計画に則り、情報収集・伝達訓練や避難所運営訓練を継続して実施している。 毎年異なる災害を想定した防災訓練を実施しており、発災時の初動対応や連絡体制などを確認している。令和4年度の防災訓練から毎回、管内の町内会長と連携し、避難行動要支援者の安否確認を兼ねてペットボトル飲料を手渡しして回っている。従来の安否確認のみの防災訓練と比較して要支援者宅を訪問するハードルが下がるなどの成果が見られた。 また、自主防災会の再編、地区防災計画作成の先進地域として、令和6年12月の市の地域防災交流会で他の自主防災会等に向けて事例を発表するなど、市全体の防災体制の整備にも多大な貢献をしている

功 績 概 要

団体〔防災体制の整備〕

推 薦 者	愛 知 県
ふ り が な 名 称	ももやまがつくぼうさいあんしんまちづくりいんかい 桃山学区防災安心まちづくり委員会
所 在 地	愛知県名古屋市
代 表 者 (団体での職名)	事務局長 はしぐち つよし 橋口 剛
功 績 の 概 要	桃山学区防災安心まちづくり委員会は、各町内会各自で実施していた防災活動について、南海トラフ巨大地震や地域の高齢化に対応するため、各町内会や関係団体と連携しながら学区内を取りまとめ、話し合いや訓練の実施、地区防災計画の策定を通じて地域防災力の向上に寄与した。

功 績 概 要

団体〔防災体制の整備〕

推 薦 者	愛 知 県
ふ り が な 名 称	にしふくだがつくれんらくきょうぎかい 西福田学区連絡協議会
所 在 地	愛知県名古屋市中
代 表 者 (団体での職名)	会長 いわた ただお 岩田 忠雄
功 績 の 概 要	西福田学区連絡協議会は、当該地区が川に挟まれた孤立する恐れのある地域の特性を踏まえて、道路冠水や湛水時に円滑に物資運搬などを行うため、水陸両用の台車である「水陸丸」を自前で作製し普及活動が続けるほか、令和2年には巨大地震を見据えて学区全世帯にアンケート調査を実施し、今後取り組むべき課題を明確にするなど、発災に備えた独自の活動に継続的に取り組んでいる。なかでも、被災時の安否表示・確認、情報伝達について、赤・白といったタオルで行う安否確認ルールを毎年の訓練を通じて住民の8割に定着させている。また、超高齢化学区の特性を踏まえて、避難所運営の担い手確保の観点から地元小学校と合同で授業参観とあわせて毎年学区訓練を実施し、地域の繋がりを大切にした幅広い防災人材の育成に継続的に取り組んでいる。

功 績 概 要

団体〔防災体制の整備〕

推 薦 者	愛 知 県
ふ り が な 名 称	ほしざきがっくれんらくきょうぎかい 星崎学区連絡協議会
所 在 地	愛知県名古屋市
代 表 者 (団体での職名)	会長 かくむ 各務 けんいち 憲一
功 績 の 概 要	星崎学区連絡協議会は、東日本大震災を契機に、「星崎学区から1人の犠牲者も出さない」というスローガンを掲げ防災活動を開始。平成27年に地区防災推進会議を設置後、2ヵ年にわたる検討により、「星崎学区地区防災計画（地震編）」を作成。この計画書は名古屋市内初の地区防災計画として認定され、地域防災力の向上に大きく寄与した。計画完成後においても星崎学区連絡協議会では、防災訓練の実施や月に数回会議を開催し、確固とした防災体制の整備、構築を図っている。

功 績 概 要

団体〔防災体制の整備〕

推 薦 者	京 都 府
ふ り が な 名 称	ようとくがつくじしゅぼうさいかい 養徳学区自主防災会
所 在 地	京都府京都市
代 表 者 (団体での職名)	会長 はら かずみち 原 和道
功 績 の 概 要	養徳学区自主防災会は、防火・防災意識を高めるため、「火災を出さない活動」及び「高齢者、弱者を守る活動」を積極的に行っている。毎年継続的に行っている活動として、「養徳自主防災会活動モデルプラン」、「普通救命講習会」、「防災訓練（自主防災会及び各自主防災部単位）」、「防火見回り活動」等があり、地域住民の防火・防災力向上に大きく貢献している。 「養徳自主防災活動モデルプラン」については、各種防火・防災活動に対して得点評価を行い、上位の自主防災部を表彰する制度であり、各自主防災部が意欲的に防火・防災活動に取り組むことができる仕組みとなっている。平成28年度からは、年度ごとに重点プランを定め、各自主防災部が一体となって防火・防災活動に取り組むことができる体制を整備し、常に変革意識を持った活動が行われている。 普通救命講習会においては、自主防災会本部役員が中心となり、毎年3回の普通救命講習を実施しており、応急手当が実施できる人材の育成を通じて救命率の向上に努めている。 学区総合防災訓練を毎年継続して実施しているほか、各自主防災部においても防災訓練を実施しており、起震車による地震体験のほか、初期消火訓練、応急処置訓練、応急担架作成及び搬送訓練などを行い、地域の災害対応力の向上に努めている。 さらに、防火見回り活動として、地域内における火災を未然に防止するため、毎月20日の20時から養徳消防分団と合同で夜間パトロール（火の用心、放置された可燃物や消防車の通行妨害になる駐車車両の監視等）を3コースに分かれて実施しており、学区民の防火意識の向上にも大いに貢献している。

功 績 概 要

団体〔防災体制の整備〕

推 薦 者	和 歌 山 県
ふ り が な 名 称	かだちくぼうさいかい 加太地区防災会
所 在 地	和歌山県和歌山市
代 表 者 (団体での職名)	会長 ふじい やすお 藤井 保夫
功 績 の 概 要	加太地区防災会は、平成7年4月1日に発足以来、30年にわたり、地区の防災力及び地区住民の防災意識の向上に努めている。 南海トラフ地震や近年の豪雨災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的に、新型コロナウイルスの影響を受けた令和3年度以外は避難所までの避難訓練を基本として、毎年継続的に訓練を実施している。令和4年度は、段ボールパーティション内でランタンなどの防災資機材を使用した避難所運営訓練、地区防災会内での役割分担を意識した避難所の受付や炊出訓練を実施した。令和5年度は炊出訓練と避難所の受付訓練、避難所における要支援者への配慮についての講義を受講するとともに、地区内の土砂災害を想定したマイタイムラインを作成する勉強会を主催した。その後、訓練内容を見直し、地域の実情を踏まえた被害状況・避難経路等を把握し、各種災害からの早期避難につなげる地区防災計画を策定した。合わせて、「一人ひとりの避難計画」及び「地域の避難計画」の作成を行う地震・津波及び土砂災害の避難対策ワークショップを主催した。令和6年度は、和歌山市が主催する水防訓練に参加し、消防団と連携して訓練を行い、防災訓練では避難行動要支援者本人と民生委員等の関係者が参加する避難訓練を行った。 加えて、和歌山県、三重県、徳島県、高知県の4県が連携する令和6年度「4県連携自主防災組織交流大会」や和歌山県が主催する「自主防災組織交流大会」にパネリストとして参加し、県内の自主防災活動のさらなる活性化に貢献した。

功 績 概 要

団体〔防災体制の整備〕

推 薦 者	佐 賀 県
ふ り が な 名 称	にしむたくじしゅぼうさいかい 西牟田区自主防災会
所 在 地	佐賀県鹿島市
代 表 者 (団体での職名)	会長 なかむら のぶあき 中村 信昭
功 績 の 概 要	西牟田区自主防災会は、平成２９年に設立後、いつ災害が発生しても対応できるように防災資機材・災害用備蓄品の整備を進めてきた。また、令和３年度からは「自主防災だより」を作成し、西牟田区の全世帯へ配布するとともに、周辺の地区と合同で防災訓練を実施するなど、防災思想の普及、防災体制の整備に取り組んでいる。なお、この合同の訓練では、警察署・消防署・市の防災担当、地元の企業等が協力し、例年８０名～１００名程度が参加するなど多くの方が参加している。このような活動や取組により、地域防災力の向上に著しく貢献している。

功 績 概 要

団体〔防災思想の普及〕

推 薦 者	青 森 県
ふ り が な 名 称	はちのへちいきしょうねんしょうぼうくらぶいくせいきょうぎかい 八戸地域少年消防クラブ育成協議会
所 在 地	青森県八戸市
代 表 者 (団体での職名)	会長 こすぎ まさひさ 小杉 雅永
功 績 の 概 要	八戸地域少年消防クラブ育成協議会は、少年消防クラブ相互の緊密な連携のもとに健全な少年消防クラブ活動の向上を図り、火災の予防及び警火思想の普及と少年・少女の教育に寄与することを目的に設立され、当初からクラブ員に火についての正しい知識の習得、火災予防意識の向上を図ってきた。近年は中学校、高等学校を対象とした消防クラブの設立にも力を入れ、地域防災の担い手を指導・育成している。設立当初から継続的にリーダー研修会を企画し、地域防災を担うリーダーを育成している。

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	千 葉 県
ふ り が な 名 称	こうえきしゃだんほうじんえすえるさいがいぼらんていあねっとわーく・いちはら 公益社団法人S L 災害ボランティアネットワーク・市原
所 在 地	千葉県市原市
代 表 者 (団体での職名)	代表 ぬまの 沼野 ひろし 博
功 績 の 概 要	公益社団法人S L 災害ボランティアネットワーク・市原は、いちはら市民大学「防災コース」や総合防災訓練での啓発活動の他、地区防災計画策定に向けたワークショップでの講演等において、防災思想の普及啓発に取り組んでいる。また、令和元年の一連の災害では、市内の避難所運営に尽力するなど、本市の地域防災力の向上に寄与した。

功 績 概 要

団体〔防災思想の普及〕

推 薦 者	新 潟 県
ふ り が な 名 称	こいわうちゅうらく・にいがたでざいんせんもんがっこう・むらかみし 小岩内集落・新潟デザイン専門学校・村上市
所 在 地	新潟県村上市
代 表 者 (団体での職名)	村上市長 𠩺 ^{ハシ} 高橋 邦 ^{クニヨシ} 芳
功 績 の 概 要	令和4年8月3日からの大雨による災害において、土石流により住家の全壊6棟を含む大規模な被害を受けたにもかかわらず、人的被害が重傷者1人のみであった村上市の小岩内集落の避難行動について、小岩内集落、新潟デザイン専門学校及び村上市が協働して絵本をツールに教訓を後世に伝えるための取り組みが、防災思想の普及に大いに貢献した。

功 績 概 要

団体〔防災思想の普及〕

推 薦 者	愛 知 県
ふ り が な 名 称	のかたじしゅぼうさいかい 野方自主防災会
所 在 地	愛知県日進市
代 表 者 (団体での職名)	代表 みつはし じんいち 三橋 仁一
功 績 の 概 要	野方野方区自主防災会は、設立より定期的な自主防災会議の開催や街頭消火器点検、区長・副区長・民生委員による災害時要援護者の訪問など地域のために活動してきた。 また、南海トラフ地震発生により野方区で被害が発生した想定で、地域避難所となる野方公民館及び一時避難場所となる野方北集会所・野方三ツ池公園交流館の開設運営訓練を行っている。このように被害状況や災害時の役割分担等を具体的に想定した訓練は、防災力の強化および防災意識の向上に大きく寄与している。

功 績 概 要

団体〔防災思想の普及〕

推 薦 者	鳥 取 県 米 子 市
ふ り が な 名 称	ふくよねちゅうがっこうくぼうさいたいけんきやんぷじっこういいんかい 福米中学校区防災体験キャンプ実行委員会
所 在 地	鳥取県米子市
代 表 者 (団体での職名)	会長 まつもと 松本 みゆき
功 績 の 概 要	福米中学校区防災体験キャンプ実行委員会は、「地域の子どもは地域が育む」「防災をキーワードにした地域住民による地域づくり」をスローガンにおき、顔見知りの地域住民に声かけをすることによって誕生した団体で、地域住民が主体となり、行政・学校・公民館と連携して親子で参加できる体験型防災学習を継続的に実施している。この活動は、幅広い地域関係者の参加を促し、地域の防災意識の向上と人材育成に大きく寄与しており、特に学校と連携した防災教育の推進により、教育カリキュラムへの導入や防災士資格取得者の輩出など、地域の防災力強化につながる持続可能な取り組みを実現している。

功 績 概 要

団体〔防災思想の普及〕

推 薦 者	徳 島 県
ふ り が な 名 称	おうじんちくじしゅぼうさいかいれんごうかい 応神地区自主防災会連合会
所 在 地	徳島県徳島市
代 表 者 (団体での職名)	会長 いわた けんいち 岩田 健一
功 績 の 概 要	応神地区自主防災会連合会は、平成２５年４月３日結成以降、定期的に地域住民参加型の防災研修、防災訓練、救命講習等を毎年継続して実施しており、視察研修、派遣講師による防災講座等も積極的に実施している。 また、防災出前教室を実施しており、今後も継続した活動が認められる。常日頃から率先して防災知識及び技術の普及啓発に努め、地域防災力の向上に熱心に取り組んでいる。

功 績 概 要

団体〔防災思想の普及〕

推 薦 者	徳 島 県
ふ り が な 名 称	ふどうちくじしゅぼうさいれんごうかい 不動地区自主防災連合会
所 在 地	徳島県徳島市
代 表 者 (団体での職名)	会長 わたなべ ますゆき 渡辺 増之
功 績 の 概 要	不動地区自主防災連合会は、平成２８年８月５日結成以降、定期的に地域住民参加型の防災研修、防災訓練、救命講習等を毎年継続して実施しており、視察研修、派遣講師による防災講座等も積極的に実施している。 また、防災出前教室を実施しており、今後も継続した活動が認められる。常日頃から率先して防災知識及び技術の普及啓発に努め、地域防災力の向上に熱心に取り組んでいる。

功 績 概 要

団体〔災害時の防災活動〕

推 薦 者	愛 知 県
ふ り が な 名 称	そうさくきゅうじょけん えいちでいーえす けーないん 搜索救助犬 HDS K9
所 在 地	愛知県豊橋市
代 表 者 (団体での職名)	代表 すぎはら ひさよ 杉原 久依
功 績 の 概 要	当団体は、日本全国の大規模災害において「少しでもはやく、ひとつでも多く、その命を見つけるために」をコンセプトに搜索救助犬だからできる、人命の搜索活動を主な活動とし、犬と人との共存・共生の社会を伝えられるよう目指している。 これまでも全国各地の各行政機関からの要請にこたえており、特に、能登半島地震や愛知県蒲郡市の災害現場での、要救助者の発見に至るまでの活動は顕著である。 また、平時から、県や市主催の総合防災訓練などの参加も積極的に行い、多くの市民に対し搜索救助犬の必要性や、ペット防災の必要性なども広く啓発活動を行っている。 さらに、令和4年3月には豊橋市と「災害時における搜索救助犬の出動に関する協定」を締結し、より一層有事の際に搜索活動が迅速に進められるような取り組みをおこなっている。

功 績 概 要

団体〔災害時の防災活動〕

推 薦 者	石 川 県
ふ り が な 名 称	まちのふっこうたきだしたい 町野復興炊き出し隊
所 在 地	石川県輪島市
代 表 者 (団体での職名)	代表 とみなり としあき 富成 寿明
功 績 の 概 要	当団体は、令和6年元日に発生した能登半島地震により、市内全域で甚大な被害となった。各地で山腹崩壊や土砂災害、道路の寸断が発生し、市外からの応援、支援物資が行き届かない状況の中、発災直後から自主的に炊き出しを行い、数多くの被災者に温かい食事を提供し、災害関連死の防止など被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体〔災害時の防災活動〕

推 薦 者	石 川 県
ふ り が な 名 称	わじませんとらるきっちん 輪島セントラルキッチン
所 在 地	石川県輪島市
代 表 者 (団体での職名)	代表 いけはた としや 池端 隼也
功 績 の 概 要	当団体は、令和6年元日に発生した能登半島地震により、市内全域で甚大な被害となった。各地で山腹崩壊や土砂災害、道路の寸断が発生し、市外からの応援、支援物資が行き届かない状況の中、発災直後から自主的に炊き出しを行い、数多くの被災者に温かい食事を提供し、災害関連死の防止など被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体〔災害時の防災活動〕

推 薦 者	石 川 県
ふ り が な 名 称	もんぜんみんなのごはん 門前みんなのごはん
所 在 地	石川県輪島市
代 表 者 (団体での職名)	代表 もり 森 さやか
功 績 の 概 要	当団体は、令和6年元日に発生した能登半島地震により、市内全域で甚大な被害となった。各地で山腹崩壊や土砂災害、道路の寸断が発生し、市外からの応援、支援物資が行き届かない状況の中、発災直後から自主的に炊き出しを行い、数多くの被災者に温かい食事を提供し、災害関連死の防止など被害の軽減に多大な貢献をした。